

科目ナンバー： 研究・CNS：MC7033

授業コード： 6630700300

講義科目名称： 老年看護学特論Ⅲ

英文科目名称： Advanced Gerontological NursingⅢ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 老人看護CNS必修
担当教員			
◎小長谷百、原等子、寄本恵輔、岡村毅、小森哲夫、田中紀裕、山上徹也、清水徳子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間			
	【担当教員】				
	【氏名】 ◎小長谷 百絵 原 等子 寄本 恵輔 岡村 毅 小森 哲夫 田中 紀裕 山上 徹也 清水 徳子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 国立精神・神経医療研究センター 東京都健康長寿医療センター研究所 東京医療保健大学 安江たなか歯科医院 群馬大学大学院保健学研究科 訪問看護ステーションふれあい田町	【研究室】 213 303	【メールアドレス】 konagaya@niigata-cn.ac.jp naohara@niigata-cn.ac.jp	
	【大学の科目区分】 専門分野				
		【DP1】	【DP2】	【DP3】	【DP4】
研究	◎	◎	○	◎	○
CNS	○	○	○	○	○
助産					

到達目標	1. 高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群について、概念、病態生理と症候、診断・検査および治療法を説明できる。 2. 高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の病態生理学的知識を高度実践看護に活用する方法を説明できる。
------	--

授業概要	老年看護高度実践者として必要な高齢者に生じやすい主な疾患や障害ならびに老年症候群の代表的なものを取り上げ、その概念、病態生理と症候、診断検査、治療法について学修する。また、これらの知識の高度実践看護への活用について討議し、その重要性についての理解を深める。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：授業のガイダンス 学修内容：・授業の目標・内容・方法（進め方）、評価方法、受講・課題・資料配布等のルール、参考図書などについて 事前学修：老年看護学特論Ⅲの学修内容を概観する 事後学修：老年看護学特論Ⅲの学修計画を立てる 備考：小長谷 原
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念、病態生理と症候、診断過程、治療法(1) 学修内容：高齢期のリハビリテーション 高齢期に多い呼吸器疾患と肺理学療法 終末期リハビリテーション① 事前学修：慢性閉塞性肺疾患と終末期の病態について自己の看護実践を振り返る 事後学修：今後の自身の看護ケアに向けて必要なポイントをまとめる 備考：寄本
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念、病態生理と症候、診断過程、治療法(1) 学修内容：高齢期のリハビリテーション 高齢期に多い呼吸器疾患と肺理学療法 終末期リハビリテーション② 事前学修：慢性閉塞性肺疾患と終末期の病態について自己の看護実践を振り返る 事後学修：今後の自身の看護ケアに向けて必要なポイントをまとめる 備考：寄本
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念、病態生理と症候、診断検査、治療法(2) 学修内容：神経筋疾患のうちとくに高齢者の多いパーキンソン病について、神経難病の最新治療と未来① 事前学修：疾患による生活や人生への影響を読み取るために神経難病、本疾患の全体像を概観し

5	<p>ておく 事後学修：専門看護師として看護が判断し協働すべきは何かを整理する 備考：小森</p> <p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念，病態生理と症候，診断検査，治療法(2) 学修内容：神経筋疾患のうちとくに高齢者の多いパーキンソン病について，神経難病の最新治療と未来② 事前学修：疾患による生活や人生への影響を読み取るために神経難病，本疾患の全体像を概観しておく 事後学修：専門看護師として看護が判断し協働すべきは何かを整理する 備考：小森</p>
6	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の病態生理と症候，診断検査，治療法(3) 学修内容：・整形外科的な疾患・障害：骨粗鬆症フレイルとサルコペニア・ロコモティブシンドローム，大腿骨頸部・転子部骨折，変形性膝関節症，脊柱管狭窄症などの後療法① 事前学修：疾患による生活や人生への影響を読み取るためにの整形外科的な疾患・障害を概観しておく 事後学修：専門看護師として看護が判断し協働すべきは何かを整理する 備考：山上</p>
7	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の病態生理と症候，診断検査，治療法(3) 学修内容：・整形外科的な疾患・障害：骨粗鬆症フレイルとサルコペニア・ロコモティブシンドローム，大腿骨頸部・転子部骨折，変形性膝関節症，脊柱管狭窄症などの後療法② 事前学修：疾患による生活や人生への影響を読み取るためにの整形外科的な疾患・障害を概観しておく 事後学修：専門看護師として看護が判断し協働すべきは何かを整理する 備考：山上</p>
8	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の概念，病態生理と症候，診断検査，治療法(4) 学修内容：・歯科・口腔疾患：う歯，歯槽膿漏，歯牙欠損，義歯不適合など① 事前学修：口腔の状態と嚥下機能について学修する 事後学修：口腔衛生に関する予防と対応についてまとめる 備考：田中</p>
9	<p>授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の概念，病態生理と症候，診断検査，治療法(4) 学修内容：・歯科・口腔疾患：う歯，歯槽膿漏，歯牙欠損，義歯不適合など② 事前学修：口腔の状態と嚥下機能について学修する 事後学修：口腔衛生に関する予防と対応についてまとめる 備考：田中</p>
10	<p>授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の概念，病態生理と症候，診断検査，治療法(4) 学修内容：・精神障害：うつ病，せん妄，睡眠障害，自死・自殺，心身症など① 事前学修：疾患による生活や人生への影響を読み取るために高齢期に多いうつ，睡眠障害の全体像を概観しておく 事後学修：高齢期に多い精神の障害から本人及び家族の生活への影響を振り返る。 備考：岡村</p>
11	<p>授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の概念，病態生理と症候，診断検査，治療法(5) 学修内容：・精神障害：うつ病，せん妄，睡眠障害，自死・自殺，心身症など② 事前学修：疾患による生活や人生への影響を読み取るために高齢期に多いうつ，睡眠障害の全体像を概観しておく 事後学修：高齢期に多い精神の障害から本人及び家族の生活への影響を振り返る。 備考：岡村</p>
12	<p>授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念，病態生理と症候，診断検査・治療およびケア(6) 学修内容：・尿路変更やストマ造設が必要になる泌尿器系疾患や大腸疾患① 事前学修：ストマ造設が必要な疾患について概観し自身の看護実践を振り返る 事後学修：今後の地震の看護ケアに向けて必要なポイントをまとめる 備考：清水</p>
13	<p>授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念，病態生理と症候，診断検査・治療およびケア(6) 学修内容：・尿路変更やストマ造設が必要になる泌尿器系疾患や大腸疾患② 事前学修：ストマ造設が必要な疾患について概観し自身の看護実践を振り返る 事後学修：今後の自身の看護ケアに向けて必要なポイントをまとめる</p>

	<p>備考： 清水</p> <p>14</p> <p>授業形態： 講義 討議 学修課題： 病態生理学知識や診断検査および治療法の知識の高度実践看護への活用 学修内容： ・病態生理，診断検査，治療法の修得と高度実践看護およびこれらの知識の高度実践看護への活用① 事前学修： 病態生理を理解し革新的に進歩する治療法とチーム医療について考えをまとめる 事後学修： レポート発表と討論により，多角的な看護ケアの臨床への適応を考える。 備考： 小長谷 原</p> <p>15</p> <p>授業形態： 講義 討議 学修課題： 病態生理学知識や診断検査および治療法の知識の高度実践看護への活用 学修内容： ・病態生理，診断検査，治療法の修得と高度実践看護およびこれらの知識の高度実践看護への活用② 事前学修： 病態生理を理解し革新的に進歩する治療法とチーム医療について考えをまとめる 事後学修： レポート発表と討論により，多角的な看護ケアの臨床への適応を考える。 備考： 小長谷 原</p> <p>15</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標1,2に対して，事前学修状況：30%，授業時の貢献度（討議）：30%，課題レポート：40%により評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため現時点では指定せず授業内で案内する
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・折茂肇編（2010）：新老年学，東京大学出版会。 ・病気がみえるシリーズ．メディックメディア <p>*その他，授業の中で随時紹介する。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の学修課題，学修内容について事前に予習して基礎的知識をもって授業に臨み，疑問や不明点などについては講義を通じて理解できるようにする。また，授業を通じて，疾患学の学修方法を修得し，授業で取り上げなかった高齢者に生じやすい疾患・障害などは自己学修して理解する。さらに，15 回目の授業では，事前に自己の考えをまとめて発表・討議し，理解を深めるようにする。 ・授業後のレポート課題 <p>「高齢者の結核・感染症，自己免疫性疾患，白血病・がんの定義・種類・病態生理と症候，診断検査，治療法」</p> <ul style="list-style-type: none"> *詳細は初回開講時にガイダンスする。 *COVID-19 の感染状況に応じてオンライン授業にする（事前に連絡する）
教員からのメッセージ	<p>高齢者の病態像は，加齢変化に疾患や障害が加味して複雑・多岐に渡り，症状・病状が典型的でなく，診断に苦慮することも少なくありません。本授業では，各々の疾患や障害の専門家である医師や高度看護実践者に教授を依頼しています。老人看護 CNS の役割を果たすための基礎的知識であるため，各々単元の学修課題を事前学修して授業に臨み，講義を通じて確かな知識として修得できることを期待しています。</p>
オフィスアワー	応相談(メール対応)